

やめ 五輪ムリ



医療現場悲鳴／署名35万人突破

首相の責任で判断を

新型コロナの感染拡大が止まらない中、「五輪は中止し、コロナ対策に力を集中してほしい」との声が広がっています。

大会組織委員会は看護師約500人、医師を200人程度の募集を関係団体に要請。医療体制がひっ迫する中、「余裕はない」「非現実的だ」など怒りの声が上がリ、開催の中止を求めるオンライン署名は35万人を突破。世論調査でも五輪「中止」が多数となってい

ます。開催国日本でのワクチン接種の遅れや、国際的にもワクチン格差からフェアな大会にならないことなど、国内外ともに開催の条件はなくなっています。

菅首相は「国際オリンピック委員会が開催権限をもっている」と責任を丸投げ。共産党の志位委員長は「主権国家として主体的に判断し、直ちに中止の決断を」と求めています。

「死者出してまで行われることでない」錦織選手

男子テニスの錦織圭選手は10日、ローマでの試合後、新型コロナの感染拡大が収束しない中で東京五輪が開催されることについて、「これだけ死者が出ていることを考えれば、例えばけど、死者を出してまで行われることではないとは思

う」と述べました。「出ないという選択肢は難しい。でも究極を言えば、一人でも感染者が出るなら気は進まない」と複雑な胸中を明らかにしました。

内閣支持率が急落

「コロナ対策評価せず」6割超

「朝日」「時事」最低に

時事通信が7～10日に実施した5月の世論調査で、菅内閣の支持率は前月比4.4ポイント減の32.2%、不支持率は6.9ポイント増の44.6%となりました。支持率は政権発足後最低。新型コロナをめぐる政府の対応は「評価しない」が64.6%でした。17日発表の朝日新聞の調査でも支持率は33%の最低タイ（今年1月）となりました。

“日本の感染は「さざ波」”

高橋洋一内閣官房参与が9日、日本における新型コロナ感染状況について、「この程度の『さざ波』。これで五輪中止とかいうと笑笑」とツイッターに投稿。インターネット上で批判が相次ぎ、同氏の

高橋内閣参与の投稿に批判

更迭を求める声広がっています。検査やワクチン接種の遅れ、医療崩壊を招いた菅政権の失政をよそに、五輪強行への国民の不安をあざ笑う態度。菅首相の任命責任も厳しく問われます。

日本共産党